



## 特集 あいの土山文化祭

地域の行事で、日頃のガンバリを発表しました!!  
～音楽クラブ・陶芸部・手芸部の活動～

### るりこう園のクラブ活動の紹介

るりこう園には、音楽クラブ、陶芸部、手芸部、将棋部、パソコンクラブ等、さまざまなクラブ活動に日々利用者が取り組まれています。  
今号では、11月10日に開催された『あいの土山文化祭』に参加された、各クラブに所属している利用者の様子を特集しました！  
一生懸命に、ハンドベル演奏を練習される姿や、陶芸や手芸の作品を制作される姿を、ぜひともご覧いただければと思います。

### ～Contents～

- 新園長より挨拶…P2
- かがやき パーティー  
ハロウィン&クリスマス  
…P6～P7
- 看護師だより／栄養士だより…P3
- きらっとの日常／編集後記  
…P8
- ☆特集 『あいの土山文化祭』  
～各クラブの活動記録～  
…P4～P5

## 当たり前かもしれませんが…



インフルエンザやノロウイルスをはじめとする感染症の流行期に入りました。きらっとでは季節問わず、学校から帰ったらまずは手洗いをすることを心がけています。感染症の多くは手を介して体内に侵入することもあるので、予防の一つとして日々、取り組んでいます。

## 密かな楽しみ

とても可愛らしく描かれたイラスト。これは吸引のチューブが外れないようにとめるテープに描かれている。医療用品もひと工夫すれば、すいぶん柔らかくて可愛らしい印象になります。お母様が描いておられ、イラストは日替わりなので、毎回お出会いするのが楽しみです。



## 放課後デイ きらっと News

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。さて、今号は新年最初ということで、いつも増して気合を入れてつくりました。「少しでも良いものを…」と、写真ひとつ選ぶにも微妙に違う写真の数々を見比べる日々。原稿も書いては消し、また書いては消しの繰り返し。夜にいいアイデアが降りてきて書いてはみるものの、翌日読み返すとイマイチ…ということもチラホラ。それを乗り越え、完成しました。今号も多くの方の元へ渡り、読んでいただくと嬉しいです。

(指導員 川端恵士)

### お迎えまでは…



みんなでの活動の後、ご家族のお迎えまで個別活動(対応)の時間を設けています。全員での画一的な活動ではフォローできない部分について、この時間を活用して個々の成長や楽しさ、嬉しさに繋がる取り組みを行なっています。内容については人それぞれですが、関わり自体が嬉しい人も少なくありません。

社会福祉法人  
瑠璃光会

障がい者支援施設 るりこう園／福祉ホーム サンライズ野上野  
〒528-0224 滋賀県甲賀市土山町野上野497  
Tel:0748-66-1345 FAX:0748-66-1065  
E-mail rurikouen@ac-koka.ne.jp  
障がい者支援センター かがやき／きらっと／ろーぶ  
〒528-0037 滋賀県甲賀市水口町本綾野1978-7  
TEL:0748-65-2717 FAX:0748-65-2718

## — 新年のご挨拶 —

明けましておめでとうございます。新たな年を迎え、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。  
昨年の秋よりりこう園の園長に就任させていただきました。まだまだ未熟な私ではございますが、りこう園スタッフの皆さんの力をお借りして、精いっぱいがんばりますので、変わらずご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

### 福祉の仕事は大変？

人口の減少、少子高齢化、2025問題など、ますます福祉の現場で働いていただける人材の確保が社会的な問題にもなっています。そうした中、「福祉の仕事は大変でしょう」、「大変な仕事をされていますね」など、『福祉の仕事は大変だ』といったイメージが少なからず世の中にはあるのかなと感じます。

福祉の仕事は大変か？答えは、やっぱり大変です。ですが、大変じゃない仕事ってあるのでしょうか。

福祉の仕事は、2000年に入って社会福祉基礎構造改革という国の政策により、大きく変わりました。これまでの措置から契約へと転換し、突然市場経済に放り込まれました。この改革には様々な課題もたくさんありましたが、当時の合言葉は「走りながら考えよう」でした。福祉の制度はその後、障害者自立支援法から障害者総合支援法へ…、まだまだ走りながら考えているといった現状です。



▲ りこう園 新園長 松本 (クリスマス会でのひと場面)

### 10分の1の喜び

一方、現場を支える職員はといえば、考える間もなく走り回っています。食事、排泄、入浴などの身の回りの介護とあわせて機能訓練や外出、レクリエーション活動やクラブ活動などの様々な活動への支援など、24時間・365日決して途切れることなく支援の櫂(たすき)をつなげていく、ゴールの無い駅伝競走のようです。

このように書くとさらに大変感が出てしまうのですが、どんな仕事もまっすぐに仕事に向き合えば向き合うほどに、たくさん大変があるもの。でも10頑張れば1喜びがあるはず。人生もそんな感じがしませんか。喜びばかりの生活に喜びは感じる事が出来ません。大変さのなかにこそ喜びを感じる事が出来るのだと思いますが、大事なはその喜びを忘れない事なのかなと思います。

### 友よ♪

福祉の仕事、とりわけ利用者の方への直接的な支援の仕事は、人と人との関係性の積み重ねの中で熟成され、やがて両者に幸福感を生み出します。これには多くの時間を必要とします。例えば農業が自然と寄り添いながら、作物を時間をかけて育てていくように。農業が私たちの生きていく根幹となる作物を生み出すように、福祉の仕事は人が生きていく事そのものを支えていくという社会における一番根底となる仕事です。すぐに何か結果を出せる仕事ではありませんが、しっかりと時間をかけて創造していくことに、大切なものを感じます。

最近よく耳にする歌があります。関ジャニ∞の「友よ」。その歌詞の中に『答えなき時代 揺るぎない覚悟』。確かなものが見えない時代だからこそ、本当に大事なことだと思ふことに向き合っていく覚悟が求められているのだと…そんなことをお正月から考えている私でした。(りこう園 園長 松本)

### 看護師だより

#### インフルエンザの季節です

インフルエンザは飛沫感染で、くしゃみや咳で飛ぶのは、空気感染と比べ大きく水分を含んだ重い粒。口から飛んでも通常は1~2mで地上に落ちます。咳をする人から少し離れば感染の機会を減らせます。インフルを発症している人が自分の口や鼻に触れ、その手にウイルスがつき、その手でドアノブや手すりなど様々な場所を触れると環境が汚染されます。そこを触れた別な人が手で口や鼻を触れることで、人から人へと感染が広がります。ですので、手洗いは大切な予防策です。

マスクは小さなウイルスを完全にはブロックしませんが、咳をする人がつければ飛ぶ粒は大きくブロックされやすいです。これが、咳エチケットです。予防のためにマスクをすれば口や鼻を触れる機会が減り感染の機会も減らせます。マスクを外してすぐ口や鼻に触れば効果も無駄になります。マスクを取るときの手洗いも大事になります。

### 栄養士だより

今年度から給食の提供が委託給食による食事サービスに切り替わり、早1年が経とうとしています。

そこで、日ごろの給食内容について今年9月に嗜好調査を行いました。

献立については、その都度各利用者様の食べたいものの意見を取り入れ、反映させていただいております。しかしながら、半数以上はいつも美味しいとの声がありましたが、約1/3の利用者の皆様からは、似た食材が多い、味付けにばらつきがあるなどの声がありました。献立については、栄養面や食べやすさを重視しがちですが、利用者の方の嗜好の面も大切にしていき、味付けについては検食者の声、利用者の声をもとに調理員と相談、改善に努め、今後の献立作成に役立てていきたいと思っております。

#### 〇旬の食材キャベツ〇

ブロッコリーや大根と同じアブラナ科のキャベツには、キャベツ特有の栄養素であるビタミンU(胃酸の分泌を抑えたり、胃の粘膜を保護・修復する作用あり)ビタミンC(免疫力を高め、風邪を予防する)ビタミンK(血液を凝固させる作用をもつ)、カルシウム、マグネシウムなどのミネラルを多く含み、体を助ける作用が期待できます。

## ～ 陶芸部 ～

陶芸部では、11月10日に開催されるあいの土山文化祭の作業部展示即売に向けて取り組んできました。今年利用ユーザーさん一人一人の個性を大切にしながら作品作りに力をいれてきました。外部から陶芸に精通している方をお招きし、月に1回程度ご指導いただきました。その甲斐あって、利用ユーザーさんの個性を残しながら綺麗な作品を作製することができました。ふりこう園陶芸部の自慢として、丸二陶料株式会社製の本格的な窯があることです。粘土を成形するだけでなく、成形した物を写真の窯で本格的に焼くことで、利用者だけでなく職員も一緒になって陶芸を楽しむことができます。出来上がった作品は、地域の催し物などに参加し、販売しています。



# 特集 あいの土山文化祭

## ～ 各クラブの活動記録 ～



## ～ 手芸部 ～

手芸部では、展示即売会に向けて利用者それぞれが作品づくりに取り組みました。手芸と一口に言っても、その作品は様々です。ある利用ユーザーは、もみぎらを包んだものを芯として、その周りに糸を巻いて手鞠を作られる利用ユーザーや、その出来上がった手鞠に刺繍で装飾される利用ユーザー、毛糸を織り込んでマフラーを作られる利用ユーザー…作品は多種多様です。

出来上がった作品は、今回の『あいの土山文化祭』だけでなく、様々な地域の行事で販売しています。



## ♪ 音楽クラブ ♪

音楽クラブは、今年も11月から12月にかけて地域の催し物に参加させていただき、日頃の練習の成果を発揮してきました。一昨年からは、ハンドベル演奏だけに限らず、合唱や踊り、打楽器を使った合奏などにも挑戦してきました。聴いてもらうだけでなく会場のお客さんも一緒に歌ったり踊ったりしてもらうことができたので、毎回大変盛り上がることができました。

音を奏でることが好きな利用者さんたちは練習から本番まで、いつも熱い思いで取り組まれています。まだまだ新しいことをしたいと皆さん思っておられるので、これからいろいろな曲に挑戦していきたいです。

# かがやき Party Time!

~ Halloween & X'mas ~



## ハロウィンパーティー

10月31日に第1回ハロウィンパーティーを行いました。当日の朝からは、どの利用者もキャラクターや魔女などの色々な衣装をして一日を過ごされました。

午前中は、カボチャのケーキ作り！職員と一緒に卵を割り、ミキサーで混ぜ、カボチャを潰して等を行いました。カボチャの甘い匂いに惹かれて先に食べようと手を伸ばす方もいれば、食べたい！と言わんばかりの大きな口を開けられている方もいました。焼き上がったからは、オバケやカボチャの絵を描きました。

午後から、オバケ退治ゲームを行いました。色々な大きさのボールを持ってオバケに向かって投げて退治しました。そして待ちに待ったおやつタイム！朝から一生懸命に作ったケーキを食べました。口一杯に頬張りそうな方もいれば、味わいながら少しずつ食べる方もいましたが、皆さん笑顔一杯の日でした。



## クリスマスパーティー

かがやきでの初めてのクリスマスパーティー！保護者の方々と一緒にフラワーアレンジメントをしました。皆さん真剣なまなざしで一生懸命に作られていました。また、職員でペープサート「サンタクロース1,2,3」を披露して最後にサンタさんに登場して頂き、記念撮影を行ないました。少し驚かされている方も居ましたが、プレゼントを渡すとニコリと笑顔で受け取られていました。昼食は、いつものお弁当と調理スタッフ特製のサンドイッチとケーキ！皆さんペロリと召し上がり満足そうな表情がたくさん見られました。



## 感謝 赤い羽根共同募金

一滋賀県共同募金会による助成金を受けて一

平成30年度「歳末たすけあい助成事業」にて車両を購入させていただき、4月より障がい者支援センターかがやきにて活用させていただいています。乗車時の振動も少なく、車いすの方も安心して乗車できます。皆さまのご協力とご支援に感謝しています。ありがとうございました。

